2021 年度事業報告書

特定非営利活動法人 介護支援の会松原ファミリー

I. 事業期間

2021年4月1日~2022年3月31日

II. 事業報告

<全体総括>

デイハウス松原「ファミリー」は通所介護事業所として、2021年4月当初には一日平均10.5人の利用者を受け入れていました。感染対策の継続を図り、利用者数の安定・増加を目指していた矢先に、新型コロナウイルス感染症の第4波の波が襲ってきました。スタッフ・スタッフ家族、利用者・利用者家族と感染が広がり、4月27日から5月末まで運営を停止せざるを得ませんでした。35名の感染者のクラスターを発生し、利用者3名と利用者家族1名の方が亡くなられました。振り返ってみると感染対策を行っていたものの、利用者へマスク着用を促すことやその他の感染対策が不十分でした。この気のゆるみが大きなクラスター発生になったと管理者として、責任を重く感じています。また、休業に際して利用者の通所サービスを継続するため、地域包括支援センターや市内の居宅介護支援事業所等に協力をいただきましたことを深く感謝しております。

5月の休業中は感染による管理者・スタッフ不在の間、理事を中心に施設消毒、感染対策マニュアル作成、備品整備などを行いました。再開前には、スタッフ会議、理事会などを重ね、クラスター発生前のケアを振り返り、専門家のアドバイスを受けてスタッフとともに「感染予防チェックリスト」を作成しました。

6月1日に運営を再開することができましたが、デイルームでの密を避けるために利用定員を8人(通常12人)に制限しました。感染を防ぐために利用者ひとりひとりのケア方法を見直すなど、感染症予防対策を徹底し、利用者・利用者家族及び当施設スタッフとスタッフ家族を守り、二度とクラスターを起こしてはいけないという強い責任感を持って施設運営を行ってまいりました。

7月には、デイハウス松原「ファミリー」感染対策委員会を正式に立ち上げ、管理者・スタッフ・理事が一体となりクラスター発生時の対応等の検証を行いました。また、変化する新型コロナウィルス感染症への対応について、毎月検討してまいりました。スタッフは2週間ごとに大阪府のPCR検査を受検してきました。コロナの疑いがあった場合は抗原検査を併用し、感染リスクを回避しながら業務継続の努力をしてまいりました。それでも感染予防の観点から数回の休業を行いました。

10月に新規利用希望者の受入れを再開、12月には利用定員を12人に戻しましたが、5人を下回る日が続き、2021年度決算は、約1,700万円の赤字となりました。

ボランティアの受け入れはクラスター発生以後、中止いたしました。

「松原ファミリー家族交流会」は毎月の開催を予定していましたが、10.11.12月の3回のみとなりました。参加された家族は自粛生活の中、開催を楽しみにされていました。「運営推進会議」は3回開催しましたが、1回は書類報告にしました。この2つの会議は城連寺コミュニティーセンターを会場にして開催しました。感染リスクを減らすため理事会、感染対策委員会、スタッフミーティングの開催も Zoom を利用した形式で開催する機会が増えました。これからの会議の持ち方なども検討が必要と考えています。

音楽を地域に届ける活動として「松原ファミリーコンサート」を実施しました。歳末たすけあい募金配分金を活用し、高木至通(マリンバ)さん・太田美和(ピアノ)さんの協力を得て、演奏動画をYouTubeで2回配信しました。

当 NPO 法人が参加する地域の盆踊り大会や活動のいくつかは中止や延期となりました。毎年実施している介護予防教室・家族介護教室、松原市の審議会等の会議も中止になることもありました。そのような中でも「認知症サポートプロジェクト」には定期的に参加し、1月には『ぼけますから、よろしくお願いしま

す』の上映会を企画・実施できました。「松原市・多職種による"認知症"学びあいの場」にも定期的に継続参加し、交流をしました。

1月に管理者を交代し、デイハウス松原「ファミリー」の運営の安定化とNPO法人としての活動のバランスを考えた活動を模索しています。

<事業の実施状況>

- 1. 介護保険法による通所介護の居宅サービス事業
- ① 地域密着型認知症対応型通所介護・介護予防認知症対応型通所介護 ディハウス松原「ファミリー」
- [内容] 当事業所は、昨年4月末、新型コロナウイルス感染症によるクラスターの発生に伴い、5月の1ヶ月間休業を余儀なくされました。 この間、スタッフ5名、スタッフ家族 1 名、利用者14名、利用者家族15名が感染し、内3名の利用者と1名の利用者家族が亡くなられました。本当に申し訳なく、あまりに悲しく厳しい現実でした。当時、基本的な感染対策は行っていましたが、環境的に密なデイルームでのプログラム内容や食事の分散化、換気の方法、利用者のマスク着用など、感染対策に甘さがあったのではないかとスタッフー同話し合い、反省し、感染対策マニュアルを作成し、6月1日に再開することができました。

再開後は感染予防対策としてスタッフ自身の健康管理に努めるとともに、スタッフ家族も健康管理にご協力いただきました。送迎時には利用者・介護者家族の健康確認にもご協力いただきました。また、三密(密閉・密集・密接)回避の徹底を基本にケアを行いました。利用定員を12人から8人までに制限し、デイルームにサーキュレーターを設置し換気の徹底、パーテーションの完全設置を行いました。スタッフ・利用者の体温測定、マスクの着用、手洗い及び消毒、スタッフの着替えの義務化を行いました。さらに、食器・コップの使い捨てによる衛生管理、食後の口腔ケア時のスタッフの防護服着用、マスク・フェイスガード装着を行いました。レクリエーション時には歌声の自粛、ビデオ鑑賞を活用するなど支援方法を検討・工夫いたしました。

7月に発足した感染対策委員会の毎月の決定方針に沿って、スタッフ・スタッフ家族や利用者・利用者家族に方針への理解と感染防止の徹底をお願いし、コロナ禍においても安心安全なデイサービス運営を行いました。そして、利用者の「その人らしさ」を尊重しながら質の高い介護を継続し、より良いサービス提供をしました。利用者や利用者家族からの悩みや不安に寄り添い、介護の相談、要望にもきめ細かく対応しました。

デイサービス運営は事業再開後も新型コロナ陽性者及び陽性疑い者発生のため数回の休業、利用定員の削減、新規受入れの制限、利用者のサービス利用控え等があり厳しい1年になりました。10月には新規利用者の受入れを再開、12月には利用定員12人に戻しましたが、年度末の3月時点で利用者登録数は23人にとどまりました。1年をとおしてみると、1日利用者平均6.3人、前年度比49.9%という大変厳しい実績となりました。

スタッフの資質向上のための研修は毎月、施設内研修を行いました。外部研修としてレクリエーション介護士2級研修を2名が受講しました。また、介護福祉士国家試験に1名が合格しました。

ボランティアの参加は自粛要請を行った結果、今年度は延べ 50 人ボランティアに活動いた だきました。

「場所] デイハウス松原「ファミリー」

[日 時] 月曜日から土曜日の9時15分から16時20分 延べ開所日 265日

[対象者] 要支援・要介護の若年性認知症の方を含む高齢者 延べ利用者数 1,475 人

② デイハウス松原「ファミリー」運営推進会議の開催

[内容] 本年度は、コロナ禍の感染症対策として、城連寺コミュニティーセンターの会議室を会場として開催しました。第16回は、感染拡大の歯止めがかからず、全国の新規感染者数は1か月近く過去最大の水準を更新し続けていたため対面の会議を中止し、書面報告としました。

下記の報告、提言をいただきました。

○デイ運営状況・職員状況・利用者状況・自己およびヒヤリハット報告

○職員研修・社内研修 ○ボランティア・実習交流

○利用者家族交流会 ○行事·法人報告

○各委員よりの提言や利用者さんのご意見

「参加者」 デイハウス松原「ファミリー」利用者 野宮 則弘

北野 武弘 城連寺連合町会会長 城連寺地区民生児童委員 片山ヨシノ 松原介護者家族の会会長 山本 紀子 松原市地域包括支援センター徳洲会 西島 茂雄 李 クリニック 李 佐智子 元介護ボランティア友の会 大伴ヒロ子 特定非営利活動法人 介護支援の会松原ファミリー理事 熱田 光子 特定非営利活動法人 介護支援の会松原ファミリー理事 數井 誠子

デイハウス松原「ファミリー」管理者・施設長 林 祐二

特定非営利活動法人 介護支援の会松原ファミリー代表 豊永 雅雄(進行・書記)

デイハウス松原「ファミリー」副施設長 桂 正子

(2022/3/31 現在)

「場 所〕城連寺コミュニティーセンター

[日 時]第15回運営推進会議:4月21日

第16回運営推進会議:8月25日 書類報告

第 17 回運営推進会議:12 月 15 日

2. 在宅介護に関するサービス提供事業

- ① 介護用品の共同購入事業
- 「内容」 紙おむつの共同購入を行いました。
- 「場 所〕介護支援の会松原ファミリー
- [日 時] 随時

「対象者」 地域の居住する紙おむつを必要とする方

3. 福祉に関する啓発及び推進事業

① 介護予防普及啓発事業(松原市委託事業)

「認知症介護予防教室」及び「家族介護教室」

[内容] 地域の高齢者や市民に、認知症の理解と地域で支えあうことの大切さや、自らの介護予防の視点に立った学習の機会を提供しました。介護者には認知症の理解や介護の方法、リフレッシュして介護ができるように、学習と相談の機会を提供しました。(詳細は下記のとおり)

「対象者」 地域の高齢者と市民

<家族介護教室>

日時	内 容	講師	場所	人数
2021年 11月30日	認知症のある人の行動には 理由がある	豊永雅雄劇団「ファミリー」	松寿苑	25 人
2022年 1月18日	認知症を楽しく理解しよう レクリエーションにチャレンジ ~やってみよう~ 頭を使って 家族介護教室	豊永雅雄 桂正子 妻谷節子	岡公民館 <zoom にて実施></zoom 	24 人

② 「松原市介護予防支援きらり活動事業」への協力

[内容] 当法人では「きらり活動員」の受入れを始めて7年目となり、多くの活動員を受入れてきました。しかし、デイハウス松原「ファミリー」では4月末以降は受入れを中止しました。また、劇団「ファミリー」の団員として家族介護教室等の活動に協力いただきました。今年度の活動者は12名、延べ人数は44名でした。

③ 地域の高齢者の集いへの協力

- [内容] 本年度は、コロナ感染拡大により大幅に縮小した参加になりました。 しかしながら、河合ミニデイの催し物への助言・参加、岡地区福祉委員会への協力 立部にこにこ教室(棒体操・介護に対する助言・介護予防的な体操指導・脳トレーニング)の 協力をしました。極力三密を避ける対応をしました。
- [日 時] <立部にこにこ教室> 2021年4月23日、9月24日

④ 高齢者との交流事業

定期的な保育園児の訪問は、今年度もコロナ感染症の影響で中止にしました。

⑤ 研修・実習等受け入れ事業

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため受け入れを中止しました。

4. 福祉に係わる他団体との交流、連携及び協力事業

① 「松原介護者家族の会」への支援

[内 容] 寝たきりや認知症の家族を介護する当事者組織である家族会の事務局を当法人に置き、 会運営の支援を行いました。また、定例松原介護者家族の会交流会にも相談が必要な時に は、随時参加しました。

② 認知症サポートプロジェクトに参加

[内容] 認知症サポートプロジェクトは松原市の認知症の人の課題や適切な支援につて議論し、参加団体の活動状況や課題を共有し、ネットワークの構築と、相談、支援の方向性を見いだして行く自発的プロジェクトチームです。2021年度は、9月の認知症のバーチャルリアリティー体験や、2022年1月には、『ぼけますから、よろしくお願いします。』の上映会をまつばらテラスの多目的ホールで実施いたしました。

- [場 所] 市役所北別館、福利厚生会館等
- [日 時] 2021年 5月 27日(122回)、7月 29日(123回)、9月 30日(124回)、11月 25日(125回) 2022年1月27日(126回)、3月17日(127回)
- [参加団体] 松原市社会福祉協議会・松原介護者家族の会・松原市居宅介護支援事業所連絡会・松原市グループホーム連絡会・松原市(高齢介護課)・松原市地域包括支援センター社会福祉協議会・松原市地域包括支援センター徳洲会・松原ファミリーボランティア・松原市認知症初期集中支援チーム(オレンジまつばら)・NPO 法人介護支援の会松原ファミリーガイドブック監修;李クリニック 李利彦氏・認知症とみんなのサポートセンター 沖田裕子氏
- [補 足] 当プロジェクトチームは、2003年に認知症に関わるネットワーク構築のために、当法人が各団体に呼びかけて発足したものです。認知症についての正しい理解を深め、認知症の人と家族への地域支援を推進する活動を、事務局である松原市社会福祉協議会と共に進めてきました。

③ 松原市デイ連絡会

- [内 容] 地域の方や介護関係者向けに、松原市役所のロビー内において、デイサービス利用者の作品や、デイサービスの紹介パネルを展示しました。
- 「日 時〕 2022 年 3 月 7 日~11 日 松原市役所 1 階ロビー

④ 松原市・多職種による"認知症"学び合いの場

- [内容] 多職種連携を目的として、医療職、介護職各々が専門性を高めると同時に連携を深めていき、支援ノウハウや関連情報を共有できる場としての「学び合いの場」に参加しました。
- [場 所] 松原市医師会館(すべて ZOOM 参加)
- [日 時] 2021年4月14日、5月12日、7月14日、9月8日、11月10日 2022年2月9日

⑤ その他、外部への講演活動等

日時	内 容	場 所
2021年11月18日	認知症サポーターステップアップ講座 劇団「ファミリー」による寸劇と講演会 松原介護者家族の会からはコメント参加	まつばらテラス多目的ホール
2022年1月17日	成年後見人養成講座(録画収録)	大阪府社会保険労務士会館

5. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

① 松原ファミリー コンサート

[内 容] マリンバ 高木至通さん、ピアノ 太田美和さんの演奏を収録し、動画を Youtube で公開しました。今年度は2回に分けての配信で、第1回は、マリンバとピアノが奏でる美しい音色の演奏、第2回は、ご自宅で歌っていただけるように、歌詞の字幕(フリガナ)付きに動画を編集しました。広報は、チラシを作成し、いつもコンサートを楽しみにして下さっている方々に案内送付するとともに、当法人の『松原ファミリーニュース』に掲載し送付時にチラシを同封し、ホームページでもお知らせしました。

[場所]収録:デイハウス松原「ファミリー」

配信:YouTube 松原ファミリーのチャンネル

https://www.youtube.com/channel/UCHj5mC2XQNAcDDiQYqwR71g

[日 時] 収録:2021年11月14日 配信:第1回2021年12月21日、第2回2022年2月28日

[対象者] 地域住民

[備 考] この地域コンサートは、松原市社会福祉協議会を通じて共同募金歳末助け合い募金より助成金を頂きました。

② 「住民参加による認知症デイの 10 年~私たちの介護 NPO~」を広報用資料として提供

[内容] デイハウス松原「ファミリー」の活動の歩みを記録した本「住民参加による認知症デイの 10 年 ~私たちの介護NPO~」を広報活動の一環として提供しました。

[場所] デイハウス松原「ファミリー」他

[日 時] 随時

[対象者] 地域住民、一般市民、見学者等

③ 会報発行・広報活動

[内 容] 法人ニュースにて、当法人の事業の紹介と報告をしました。法人ニュースは毎回 1,000 部を印刷、ご利用者や法人会員及び関係機関に配布し、市内各所に配架もお願いしています。また、バックナンバーも含め、ホームページにも掲載しています。

III. 社員総会の開催状況

[名 称] 2020年度(第22回)通常総会

[開催日時] 2021年6月28日(月)

「場所」デイハウス松原「ファミリー」

「社員総数] 24名

[出 席 総 数] 24名(書面決議)

「議案」第1号議案 2020年度事業報告承認の件

第2号議案 2020年度決算報告承認の件並びに監査報告

第3号議案 2021年度事業計画(案)承認の件

第4号議案 2021 年度予算(案)承認の件

「審議結果」第1号議案 全員一致で承認可決

第2号議案全員一致で承認可決第3号議案全員一致で承認可決

第4号議案 全員一致で承認可決

IV. 理事会の開催状況

第 136 回理事会 2021 年 5 月 17 日(月)

- ① デイハウス松原「ファミリー」新型コロナウイルス感染症陽性者発生と対応の報告
- ② デイサービス再開について
- ③ 感染予防対策の見直しについての提案
- ④ 総会について

第 137 回理事会 2021 年 6 月 17 日(木)

- ① 全体報告
- ② 法人総会について
- ③ その他
- 第 138 回理事会 2021 年 9 月 30 日(木)
 - 全体報告
 - ② 感染対策委員からの報告
 - ③ 今後の法人事業
 - ④ その他
- 第 139 回理事会 2021 年 12 月 15 日(水)
 - 全体報告
 - ② デイハウス松原「ファミリー」の今後について
 - ③ 収益改善シミュレーション
 - ④ 感染対策委員からの報告
 - ⑤ その他
- 第 140 回理事会 2022 年 2 月 18 日(金)
 - ① 報告事項
 - ② 協議事項
 - ③ その他法人の予定等
- 第 141 回理事会 2022
- 2022年3月23日(水)
 - ① 報告事項
 - ② 協議事項
 - ③ その他法人の予定等

V. 介護支援の会松原ファミリーの動向など

① 見学や相談、ボランティアの受け入れ

見学・相談 延べ人数 24名

ボランティア受入れ 延べ人数 73名(内 きらり活動員 44名)

② 委員会・審議会など参画実績

松原市地域福祉計画策定委員会	豊 永
松原市介護保険事業第三者評価委員会	豊永
松原市介護保険事業計画及び 高齢者福祉計画策定委員会	豊 永
松原市地域包括支援センター運営協議会	佐 瀬
松原市地域密着型サービス運営委員会	豊永
松原市人権尊重のまちづくり審議会	豊永
松原市セーフコミュニティ 高齢者の安全対策委員会	豊永

松原市セーフコミュニティ 自殺予防対策委員会	林
松原市社会福祉協議会評議委員会	豊永
認知症サポートプロジェクト会議	豊永•林
松原市デイ連絡会	豊永•桂
バオバブ福祉会 理事	豊永
大阪いずみ市民生協 多機能ホーム松原運営推進会議	豊 永